



中体連総合大会に向けた意気込み! ～ソフトテニス部、新聞に掲載～

5月30日(日)、福島民報新聞に本校のソフトテニス部長の根本紗羽(さわ)さんのコメントが掲載されました。実は、県独自の緊急事態宣言が5月31日に解除されることで、5月28日(金)に取材を受けていました。根本紗羽さんコメントの中で、「昨年プレーできなかった先輩たちの分まで頑張る」という言葉は、自分たちだけでやってきたのではなく多くの方々のお陰で今の自分たちがあるという「感謝の心」が伝わってきます。大変素晴らしいコメントだったと思います。



取材を受ける根本紗羽さん

6月8・9・10日に開催される中体連総合大会では、各部活動、感謝の気持ちで、これまで培ってきた力を十分に発揮してほしいと思います。



県独自の緊急事態宣言解除に伴う学校の対応

昨日、保護者の皆様宛に「**新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴うご協力のお願い**」という文書を出させていただきました。県独自の緊急事態宣言が解除されても、6月31日までは重点対策期間となり、特に6月1日から6月7日までは移行期間となりました。この緊急事態宣言中に実施していましたが、「家族に風邪の症状があった場合、家族の症状が無くなるまで登校させずに自宅で過ごす」ことについては、この移行期間では継続となります。学校での感染リスクが高い活動については、可能な限りの感染対策を行った上で徐々に実施することになります。

昨日の文書をよく御覧いただき、御家庭での御理解・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨日より衣替え！



衣替えは、6月1日と10月1日であり、冬服から夏服へ、夏服から冬服へ切り替える習慣となっています。(日本列島は南北に長いので、北海道は6月15日と9月15日、南西諸島など温かい地方は5月1日と11月1日だそうです。)6月1日を前に、本校では、昨日5月31日(月)から衣替えとしました。6月1日が火曜日ということで、週の初めである月曜日から開始ということにしました。この日の朝は、雲一つない快晴で、夏服で登校する生徒がまぶしく見えました。先週から準備期間になっていたため、多くの生徒は夏服に切り替えていましたが、朝晩の寒さがあり夏服に切り替えない生徒もいました。昨日からは学級が白色中心となり、新たな季節に向かって気持ちを切り替えて取り組んでいけそうな雰囲気となりました。6月は、中体連総合大会の開催、期末テストに向けた授業の充実など、学習と運動どちらにも力をいれなければならない月ですので、生徒の皆さんには新たな気持ちで頑張してほしいと思います。

今井杯ソフトテニス大会でのこと

5月30日(日)、コロナ禍の中でしたが、3密を避けて無観客としたり、できる限りの対策をしたりして「今井杯ソフトテニス大会」が実施されました。多くの選手が出場した中、本校のソフトテニス部は4ペアがベスト16、2ペアがベスト8に入る活躍を見せました。入賞者は以下の通りです。

ベスト8 (入賞者)

穂積英莉・郷田美月ペア

鈴木麗心・緑川陽愛ペア

当日の大会の中で、素晴らしい光景を見ましたのでお伝えします。それは、本校のソフトテニス部が率先して大会の準備を手伝っていたことです。(顧問の指示があったわけではありません。毎回行っていると聞きました。)長机やイスを運んだり、全コートのネットの調整をしたりなど、3年生が中心となり進めていました。このような行動を積み重ねることによって、きっと何かの時に強い気持ちで力を発揮できる人間になるのだと思います。他の部活動も見習いたいところです。(ちなみに、ソフトテニス部のテントやイスなどは、もちろん自分たちで設置しました。これも素晴らしいことですね。)

